



教祖140年祭

If you do not follow the path of the Divine Model, there is no need for a Divine Model... There is no path but the path of the Divine Model.

Osashizu, November 7, 1889

ひながたの道を通らねばひながた要らん。(略) ひながたの道より道が無いで。
(おさしづ 明治22年11月7日)

皆丸い心で
つながり回ろう

教祖は

「世界は、この葡萄ぶどうのようになあ、皆、丸い心で、つながり合うて行くのやで。」(稿本天理教教祖伝逸話篇一三五「皆丸い心で」とお教え下さいました。

「丸い心」とはいったいどんな心なのでしょう。その答えは、みかぐらうたに見つけることができます。

むいこころをうちわすれ

やさしきこころになりてこい (五下り目)

「やさしきこころ」のお手振りは、胸の前で半円を描き、胸に取る手。ここから丸い心は

「優しい心」であると解釈できますでしょう。

よくがあるならやめてくれ

かみのうけとりでけんから (九下り目)

「うけとり」のお手振りは胸の前で円を描き

ます。ここから、神様に受け取っていただける丸い心は「欲のない心」であると解釈できます。

このたびむねのうち

すみきりましたがありました (四下り目)

「すみきりました」は胸の埃ほじりを祓い、胸の前で円を描くお手振りで。ここから丸い心は「澄み切った心」とも解釈できます。

教祖の仰せられる丸い心は、「優しい心」「欲のない心」「澄み切った心」。特に「澄み切る」は「角切る」と言い換えることもできます。角を切ったら丸くなります。

続いて、

「この道は、先永さきながしう楽しんで通る道や程に。」教祖は、皆丸い心でつながりあう先の道もお教え下さっています。

本島大教会布教部(人)